

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	おはなのいえ萱瀬		
○保護者評価実施期間	令和8年 4月 1日 ～ 令和8年 4月 20日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17 (回答者数)	14
○従業者評価実施期間	令和8年 4月 1日 ～ 令和8年 4月 10日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3 (回答者数)	3
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 5月 19日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	家事スキルの向上	おはなのいえのコンセプトでもある「家事スキル」は、保護者の方にもご理解いただきおはなのいえ独自の目標として、個別支援計画書にも取り入れさせていただいています。工程を個々に合わせステップにし、個別にお伝えしています。	家事スキル【掃除・洗濯・調理】・将来「1人暮らしをしたい。」「グループホームでの生活を考えている」等、どの選択をしても不可欠になるスキルを個々に合わせてお伝えしています。認知力向上のためのトレーニング【コグトレ】社会的スキルの向上【SST(ソーシャルスキルトレーニング)】この3本柱をおはなのいえの支援としています。
2	般化がしやすい環境	一軒家をコンセプトにより家庭に近い環境の中で支援を行います。いつでも帰って来られる場所、抛り所を目指し施設感のない雰囲気を作っています。また、軽度のお子様には彼らのプライドや思いを守る意味でも社用車は、世間の車と同じもの。職員の服装はお母さんやお父さんがしている格好で、いち人間的環境としても寄り添っています。	構造化を常に考え、必要に応じた環境設定を心がけています。しよっちゅう模様替えが行われるのでお部屋もきれいです。
3	机上課題はしません。 実際の体験を大切にしています。	学校から疲れて帰ってくるお子さまたち。エネルギーも使い果たしているのにそこから、`お勉強、はおはなのいえではしません。生活に必要なスキル、対人スキル…を遊びや活動の中でリアルに体験しながら学ぶことができるようにしています。	沢山の療育方法があふれている中、子どもたちが`訓練、`お勉強、と感じない内容で提供していきたいと思っています。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	他事業所との交流や地域交流	おはなのいえに通うお子さまのプライドや学童期、青年期の心の葛藤に向き合うための配慮だと感じています。	ゼロの状況はありませんが、控えたい時期には控えます。積極的な活動が子どもたちにとってメリットになる時期には、様々な活動参加を行います。
2	安全計画、避難訓練、事業所内の様子の周知	マニュアルについては、虐待、身体拘束適正化、防犯、感染症、事故防止(ヒヤリハット含む)においてすべて策定しておりその項目においての事業所内研修及びBCPの外部研修などを経て改善、工夫をしております。また、SNSにおいての周知を主にさせていただいております。	SNSの閲覧呼びかけや、送迎時に実施報告をさせていただくことが今の段階の最善の方法です。マニュアルについての説明は契約時や面談時に行っていますが、詳細説明についてご希望があればお時間をとって頂き来所いただいたときに文章読み上げで丁寧にご説明をさせていただきます。
3	保護者会の開催	昼夜の部で検討、改善を重ねたが保護者の集まりが少ない。	本部木場にて隔月の開催をします。 SNSでの呼びかけも行ってあります。